

幅広い分野での研究支援システム開発 ～シーズを世に出すこの10年～

SATテクノロジー・ショーケース2017

■ はじめに

当社は10年前に「研究者支援ソフトウェア」というキーワードを掲げ、東京からつくばに移転してきました。

それまでも、1983年の創業以来ずっと、常磐線をつくばに通っては研究を支援するソフト開発を長年実施してきましたが、より会社の旗幟を明確にし、研究支援システムの開発に会社を特化させるという目的のために移転したのでした。

それから10年、市内の殆どの研究所や大学、更には県内、そして全国の大学・研究所とのお仕事を実施してきました。10年間における研究施設向け実施案件数は優に1000件を超えました。当社が掲げた「研究者支援ソフトウェア」という言葉も、他社も使うようになり、一般名詞になったようです。

当社は2008年からテクノロジー・ショーケースに連続して参加しており今回で10回目となります。その中では2度のベスト産業実用化賞も受賞しました。移転10年経過、ショーケース参加10周年の節目にこの10年の研究支援産業活動を振り返ってご紹介したいと思います

■ 活動内容

1. 「研究者支援ソフトウェア」受託開発

創業以来変わらず続けている当社のコア事業です。難しい、面倒な案件でも、そのシーズを世に出すことに意義があると信じ、研究者に伴走する開発をしてきました。

2. 共同研究契約等による市場への製品投入

受託開発以外でも「シーズを世に出す」事に取り組んできました

● 見ん者(みんじゃ)

筑波大学との共同研究開発。動作習得促進アプリとして1万人以上のユーザを獲得。

● 患者QA管理システム

放射線医学総合研究所との契約により、当社開発ソフトウェアである患者QA管理システムを全国の粒子線施設に販売しています。

3. ハードウェア、センサと組み合わせたIoT時代への対応

ファクトリーオートメーションや、センサ等を使った新規

性のあるシステム開発を長年実施してきた当社。IoT時代への突入を受けて、改めて事業領域を再設定。装置開発も含めた「ソフト、ハード、センサ・ネットワーク」の三位一体となったシステムの共同研究開発、競争的資金獲得しての市場化推進などを実施しています。

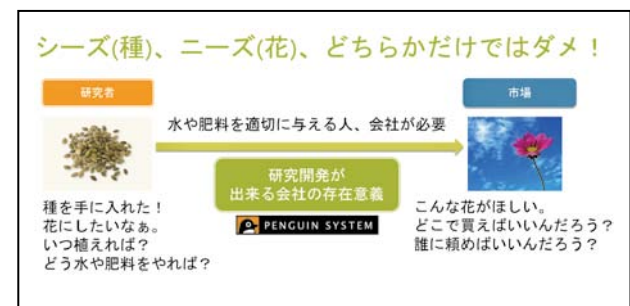
■ まとめ

この10年での当社の実績を数字で振り返れば以下のようになります。

- 研究開発実績: 1000件以上
- 共同研究契約: 12件
- 競争的資金獲得: A-STEP2回をはじめ、多数実施
- 受賞・認定: ショーケースのベスト産業実用化賞2度をはじめとし多数。
- 人材雇用増加: 移転時5名→現在25名
- 特許・商標登録: 4件。その他出願中多数
- ベンチャー創出: 1社
- (関連会社としてハードウェアベンチャーである株式会社アイデアを設立。産総研技術移転ベンチャーとして活動中)
- 事業所新設: 神戸医療産業都市に2016年3月設置

研究所内の机の中のシーズ、研究者の頭の中のアイデアを世に出す、それが当社のテーマです。

ソフトでもハードでも、請負でも派遣でも共同研究開発でも、形態はなんでもよいと思っています。研究者のシーズだけではなく、それを応用化して市場に投入する役割の人・会社がいれば、市場にニーズと繋げることが大事。研究開発ができる会社、としての存在意義を噛みしめて、これからも進んでいくつもりです。



代表発表者 **仁衛 琢磨 (にひら たくま)**
 所属 **ペンギンシステム株式会社**
 問合せ先 〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6
 つくば研究支援センターCB10
 TEL: 029-846-6671 FAX: 029-846-6672
 showcase@penguins.co.jp

■ キーワード: (1) 研究者支援ソフトウェア
 (2) シーズを世に出す
 (3) 共同研究開発